

教師用指導書「ワークシート集」について…………… 2

言葉と言葉のつながりを楽しもう…………… 4

1 要約してつながりを読もう

ネコのひげ…………… 7
慣用句…………… 11

2 絵から読み取ったことを話そう

ミニギャラリーの解説委員になろう…………… 12
作文をよりよくしよう…………… 17
ほかのものになりきって…………… 18
言葉のきまり①こそあど言葉…………… 19

3 人物の変化を読もう

モチモチの木…………… 21
絵をくらべながら読もう…………… 25
言葉のきまり②言葉のなかま分け…………… 26

4 質問を調べて書こう

「はてな」を調べて書こう…………… 28
これはわたしにおまかせください…………… 30
言葉のいずみ①漢字の組み立て(部首)…………… 32
写真が動き出す…………… 34

5 調べたことをほうこくしよう

遊びをくらべよう…………… 37

6 分類して整理しながら読もう

冬眠する動物たち…………… 41
つながりを考えて書こう…………… 45
心をとどけよう、受け止めよう…………… 46

7 おもしろさを見つけて読もう

わにのおじいさんのたから物…………… 47
言葉のいずみ②漢字のでき方…………… 50
ローマ字…………… 51
言葉をつないで文を作ろう①②③…………… 52
この本で学習した漢字①②…………… 56
三年生までに学習した漢字①②③…………… 78

教師用指導書「ワークシート集」について

本書は、令和二年度版「みんなと学ぶ小学校国語」の各教材の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシート集です。

教師用指導書解説編及び朱書編との関連を考慮し、各教材の授業展開に応じた実践的なワークシートを用意しています。また、教材に即したもののほかに、漢字や文字学習など、日常的な学習に対応した資料も収めています。それぞれのワークシートをあらかじめ確認していただき、授業の有効な場面で活用してください。

本書に収められた資料を十分に活用することで、児童の学習意欲や学びの定着が高まることを願っています。

□ 本書の使い方

本書は、図書としての扱いやすさを考慮して、教科書と同じB5判で作成しています。ご使用の際には、適宜B4判程度に拡大コピーしてください。

また、本書掲載のワークシートのデータを、弊社ホームページ内「小学校国語」よりダウンロードすることができます。適宜、資料をダウンロードして、必要部数をプリントアウトしてご使用ください。

□ 本書の構成

● 授業展開に合わせたワークシート

教科書の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシートです。

児童が主体的に学習課題に取り組めるよう、考えたことを書き込んだり、友達の発言を記録したりすることができます。単なる学習作業を行うのではなく、内容理解や自身の学習評価、次の学習への意欲付けができるよう配慮した内容になっています。

なお、学級の実態やノート指導の観点などから、本書に収められたワークシートが授業に適さない場合が生じることもあります。そういったときには、本資料を参考にして、自作するなどしてください。

● 「言葉をつないで文を作ろう」

学習指導要領では、漢字の読み書きについて、次のように記されています。

漢字の読み書きについては、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、書きの指導は2学年間という時間をかけて、確実に書き、使えるようにすることとしている。

よって、学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う」ことを受け、教科書で設定された「言葉をつないで文を作ろう」のページをもとに作成したものです。

掲載している挿絵や漢字・熟語などを使って、普段の生活や想像したことなどを織り交ぜながら、楽しく表現することをねらっています。漢字の定着のみならず、文章の創作意欲をかき立てるのに適した資料です。

●「この本で学習した漢字」

学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年までに配当されている漢字を読むこと」や「当該学年までの配当されている漢字を漸次書くこと」を受けたものです。

教科書本文では、新出漢字を脚注欄や「漢字の広場」の漢字特設ページにて提示しています。また、各巻の巻末資料編「漢字のまとめ」この本で学習した漢字」にて教材ごとに示しています。これらのページをもとにして作成した資料です。

構成としては、まず、漢字に振り仮名を付けて読み、その後に漢字を書くようになっていきます。くり返し練習することにより、児童の漢字の定着が一段と進むように工夫しています。

●「〇年生で学習した漢字」

前学年で学習した漢字すべてを、学習指導要領の「学年別漢字配当表」の順に掲載しています。(一年生は当該学年の漢字を掲載)

すべての漢字を三段階で書きながら、習熟を図っています。まずは始筆や筆順に注意しながら「なぞり書き」を行い、その後、十字罫のあるマス目に沿って字形を意識しながら書きます。そして、最後は、上段のお手本を見ながら丁寧に書くといったステップで漢字の練習をすることができます。なお、本資料は、書写の硬筆指導にも活用することができます。

●「ひらがなのれんしゅう」「かたかなのれんしゅう」

一年生のみ設定している資料です。五十音順に並んだ平仮名を書く練習をします。筆順、字形を意識しながら、くり返し練習ができるようになっていきます。また、始筆から「とめ」「おれ」「はね」「まがり」「はらい」「むすび」などの点画の書き方に注意して書くことで、読みやすく丁寧に字を書くこととする態度を養うことができます。

本書に収録した情報の著作権は学校図書に帰属しています。また、収録された作品や文章の著作権は、それぞれの作者・筆者に帰属しています。学校図書発行教科書の指導に使用する目的以外での使用はできません。

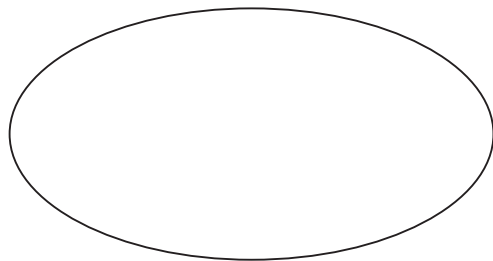
言葉から想像しよう

名前

言葉と言葉のつながりを楽しもう

①

① 言葉集めをしましょう。



② 学習をふりかえりましょう。

言葉から想像しよう

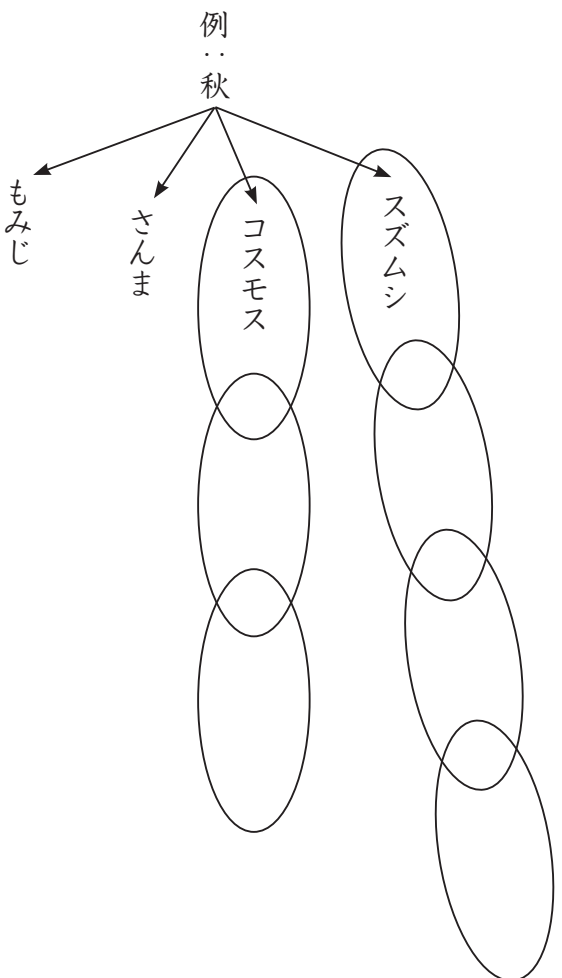
名前

2 言葉と言葉のつながりを楽しもう

1 言葉の「くさり①」を作りました。



2 言葉の「くさり②」を作りました。



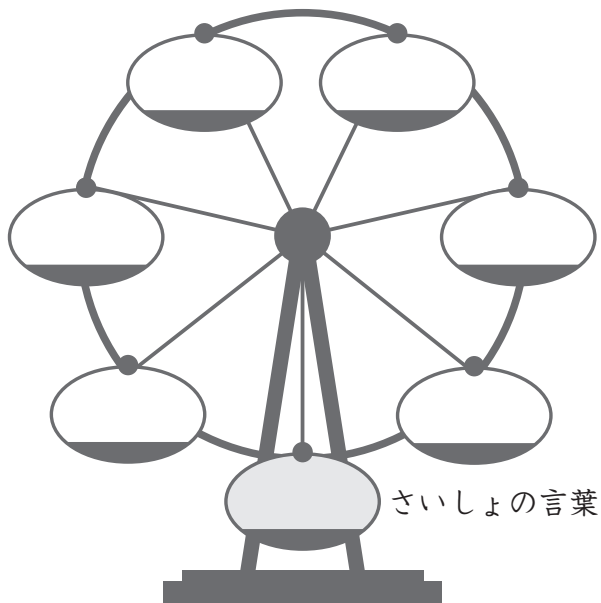
3 学習をふりかえりましょう。

言葉から想像しよう

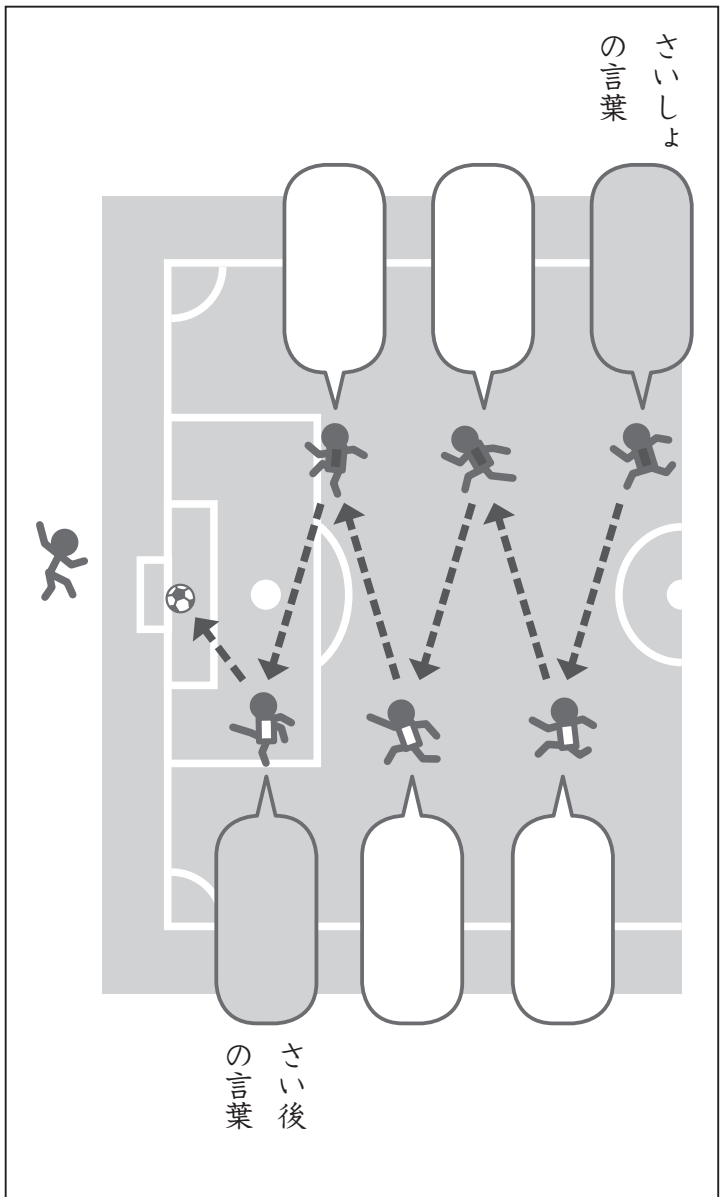
名前

3 言葉と言葉のつながりを楽しもう

① 言葉の「かんらん車」を作りました。



② 言葉の「ゴール」を決めましょう。



ネコのひげ①

① 「ネコのひげ」を読んで、はじめて知ったことやふしぎに思ったことを書きましょう。

--

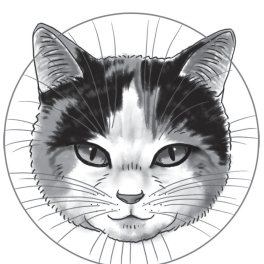
② 本文を、「はじめ」「中」「終わり」の三つに分け、だん落番号を書きましょう。

はじめ	中	終わり

③ 「ネコのひげ」には、問いの文が二つあります。見つけて書き出しましょう。

④ 二つの問いの文に対する答えのだん落を見つけ、だん落番号を書きましょう。

問い	答えのだん落番号
一つめの問い	
二つめの問い	



1 要約してつながりを読もう

名前

ネコのひげ②

- ① 一つめの問いの、答えとなっているそれぞれの形式だん落の事例をたしかめ、要点を書きましよう。

だん落番号	要点

- ② 二つめの問いの、答えとなっているそれぞれの形式だん落の要点を、本文中にある言葉を使って書きましよう。

だん落番号	要点

- ③ 要点をもとに、①と②の二つの問いの、答えとなっているそれぞれの形式だん落の事例をたしかめ、要点を書きましよう。

1

要約してつながりを読もう

名前

ネコのひげ③

1

ネコのひげの仕組みとはたらきは、どのような関係でつながっていますか。要約文をもとに考えて書きましょう。

2

書いたことをもとに話し合い、友だちの意見を書きましょう。

() さん

() さん

1 要約してつながりを読もう

名前

ネコのひげ ④

1 ネコのひげを読んで、どう思いましたか。読んだ感想を書きましょう。

もしネコにひげがなかったら、どうなってしまうかな。

「ひげは、ネコにとって〇〇です。」のように、まとめてから話し合ってもいいね。



2 友だちの感想でよかったところや、自分の考えとちがったところなどをまとめてみましょう。

慣用句

① 次の——部分の意味を、国語じてんで調べましょう。ア・イのどちらが慣用句でしょうか。

・うでを上げる

ア 空に向けてうでを上げる。
イ 料理のうでを上げる。

・足を引っぱる

ア ぬかるみにはまった足を引っぱる。
イ リレーで、足を引っぱってしまった。

② 慣用句を国語じてんで調べ、次のようなカードにまとめましょう。

①

慣用句	
意味	
慣用句を	
使った短文	

②

慣用句	
意味	
慣用句を	
使った短文	

③

慣用句	
意味	
慣用句を	
使った短文	

④

慣用句	
意味	
慣用句を	
使った短文	

2

絵から読み取ったことを話そう

名前

ミニギャラリーの解説委員になろう①

① 絵から見えることや想像したことを書きましょう。



見えること 想像したこと
この前は・・・ この後は・・・

② 学習のふり返りをしましょう。

ミニギャラリーの解説委員になろう②

ましよう。

そのほか	色づかい	かかれているもの	注目したこと	何の絵か
			見えること	
			想像したこと	

友だちと絵の見方や感じ方は同じでしたか。交流した感想を書きましょう。

3 学習のふり返りをしましょう。

絵から読み取ったことを話そう

名前

ミニギャラリーの解説委員になろう③

☐ 前の時間で作った表をもとに、解説文を書きましよう。

[illegible]

ミニギャラリーの解説委員になろう

う 4

1 解説文を発表するとき、どんなことに気をつけて話せばよいでしょうか。

--

2 グループで聞き合い、友だちの発表がよくなるように、アドバイスをつたえ合いましょう。

発表した人	アドバイス

3 次にがんばりたいことや、今日のふり返りを書きましょう。

--

2

絵から読み取ったことを話そう

名前

ミニギャラリーの解説委員になろう
⑤

①

発表を聞き合い、自分の解説とにているところやちがうところ、新しく想像がふくらんだことなどについて書きましよう。

発表した人	発表を聞いて考えたこと	話し方でよかったところ

②

解説はうまく話せましたか。自分の発表でよかったところを書きましよう。

「ゆたかに表現しよう^{ひょうげん}」

名前

ほかのものになりきって

□ なりきるものを決めましょう。なりきるものを当てるためのヒントとなるような、

様子を表す言葉を考えましょう。

・なりきるもの……………

〽

形	色	とくちょう	なりきるもの が すぎそふなもの

□ ヒントとなる言葉を使って、詩を作りましょう。

題名

こそあど言葉②

Ⅰ 次の二つの文章を読み、どちらが読みやすいですか。理由も考えましょう。

(ア) わたしのたから物は、母からもらった本です。母からもらった本は、黄色い表紙で、母からもらった黄色い表紙の本は、わたしのたん生日のプレゼントとしてももらいました。今でも、母からもらった、黄色い表紙の、わたしのたん生日プレゼントとしてももらった本を、大切にしています。

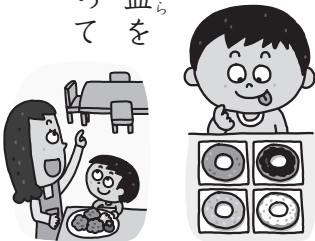
(イ) わたしのたから物は、母からもらった本です。この本は、黄色い表紙で、わたしのたん生日のプレゼントとしてももらいました。今でも、この本を大切にしています。

・読みやすいのは（ ）です。
なぜなら、（ ）

Ⅱ 絵を見て、（ ）にこそあど言葉を入れましょう。

① （ ）に
しょうかな。

② （ ）お皿を
（ ）に持って
いってください。



③ （ ）ことになってしまった。
（ ）ことしなければ、われな
かったのに。



Ⅲ 次の文の——線部分のこそあど言葉が、何を指しているか書きましょう。

ひげや毛が動くと、それにつれて根もとの皮ふが動き、その動きが、そのまわりのしんけいをしげきするからです。

①
②
③

モチモチの木 ①

□ 教科書P 52のさし絵をもとに、それぞれの場面の出来事を豆太に注目してまとめま

しょう。

さし絵	題名	出来事
ア		
イ		
ウ		
エ		
オ		
カ		

モチモチの木②

□ 次の文から、豆太^{まめた}はどんな人物か、また、この時どんな気持ちだったのかを考えよう。

・ぶるぶる、夜なんて考えただけでも、おしっこをもらしちまいそうだ……。 (P 44)

・豆太は小犬みたいに体を丸めて、表戸を体でふつとばして走りだした。 (P 46)

・そして医者様のこしを、足でドンドンけとばした。 (P 47)

・それでも、豆太は、じさまが元氣になると、そのばんから、「じさまあ。」と、しょんべんにじさまをおこしたとき。 (P 51)

モチモチの木 ③

① お話の中で、豆^{まめ}太はどのようにかわりましたか。はじめ・きっかけ・終わりに分けて考えましょう。

はじめ

きっかけ

終わり

② お話全体を次のように短くまとめましょう。

主人公（ ）が

きっかけ（ ）によって

終わり（ ）になった話

3

人物の変化を読もう

名前

モチモチの木④

① まめ 豆太のことを、あなたはどのように思いますか。

① 自分の思い

② 理由

②

豆太に対する友だちの思いを書きましょう。

① 友だちの思い

② 理由

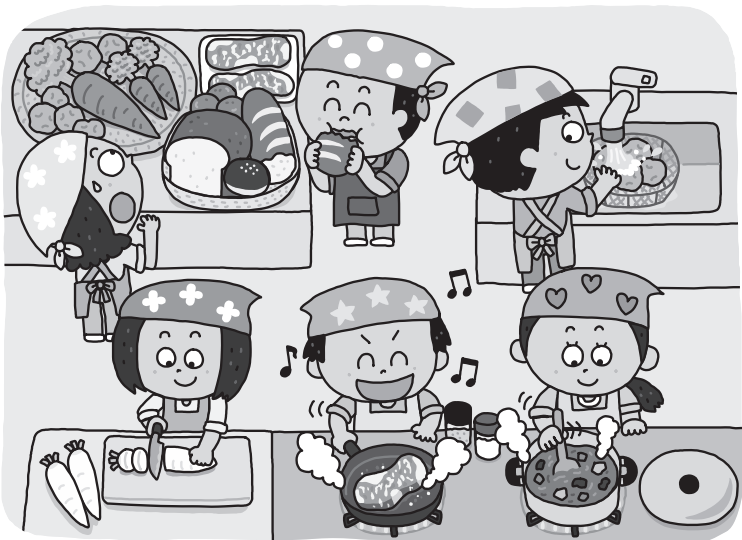
絵をくらべながら読もう

□ 教科書P 54・55を読んで、さし絵によってつたわる様子を考えましょう。①・②からさし絵をえらんで、それはどうしてか理由を説明しましょう。

- ・えらんださし絵……………（ ）
- ・えらんだ理由

言葉のなかま分け②

Ⅰ 左の絵の中から言葉を見つけて、グループⅠからⅢのどれに当てはまるか、なかま分けをしましょう。



										グループⅠ
										グループⅡ
										グループⅢ

「はてな」を調べて書こう①

□ 調べたことをもとに、「はてな」をほうこくする文章の組み立てメモを考えましょう。

問いの答えや 自分の答え	分かったこと		問い	話題
5 4 終わり	3 中 2	2 中 1	1 はじめ	

「はてな」を調べて書こう②

□ 組み立てメモをもとに、「はてな」をほうこくする文章を書きましょう。

[illegible]

みんなにつたえよう

名前

これはわたしにおまかせください

①

① 「わたしにまかせてほしい。」ということやとくいなことを書きましょう。

「まかせてほしい。」ということ、とくいなことで、話をしたいこと

② その理由や、これまでの自分の取り組み、それにかかわる出来事などを書きましょう。

その理由

これまでの取り組み 出来事など

③ 次にがんばりたいことや、今日の学習のふり返りを書きましょう。

2 これはわたしにおまかせください

① 表げんの方をくふうして話しましょう。友だちのスピーチを自分とくらべながら聞いたり、質問や感想をつたえたりしましょう。

発表した人		質問や感想	

② スピーチは上手にできましたか。学習のふり返りを書きましょう。

漢字の組み立て(部首) ①

① 「へん」について調べましょう。

① 三つの漢字に共通している部分に○をつけましょう。

計語読

この共通する部分を() といいます。

左がわにある部首を() といいます。

言	
(名前)	(関係) かんけい

② 「木」(きへん)のふくまれている漢字に○をつけましょう。

秋 理 住 村 打

③ 「へん」と漢字を調べましょう。

② 「つくり」について調べましょう。

① 二つの漢字に共通している部分に○をつけましょう。

部 都

右がわにある部首を() といいます。

部	
(名前)	(関係)

② 「頁」(おおがい)のふくまれている漢字に○をつけましょう。

親 頭 相 銀 朝

③ 「つくり」と漢字を調べましょう。

へん	漢字						
木	村						

つくり	漢字						

漢字の組み立て(部首) ②

① 「かんむり」「あし」について調べましょう。

① それぞれの三つの漢字に共通している部分に○をつけましょう。

葉 草 花

上がわにある部首を（
）
といいます。

艹	
(名前)	(関係)

思 意 感

下がわにある部首を（
）
といいます。

心	
(名前)	(関係)

② 「かんむり」「あし」と漢字を調べましょう。

かんむり	漢字
あし	漢字

② 漢字のまわりをかこむ部首「たれ」「によう」「かまえ」について調べましょう。

① それぞれの二つの漢字に共通している部分に○をつけましょう。

庭 店



(名前)

たれ	漢字

道 近



(名前)

によう	漢字

国 園



(名前)

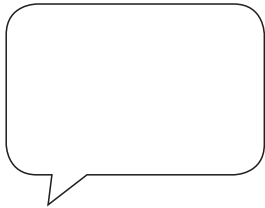
かまえ	漢字

— 想像を広げよう

名前

写真が動き出す①

① 写真から分かることを書き出しましょう。たくさんある場合は、新しいふき出しを足して書きましょう。書き出したものを表にまとめましょう。



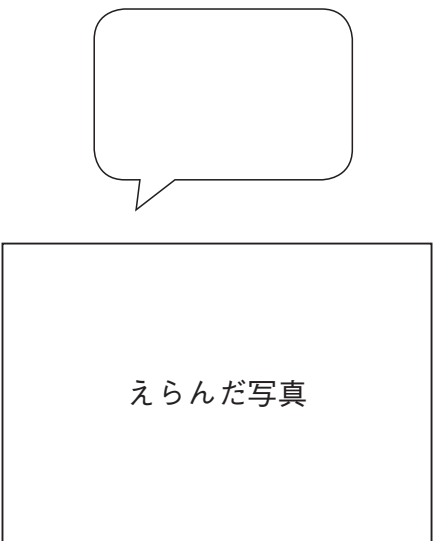
きせつ	時間	場所

② 写真の前後を想像して書きましょう。

写真の後に あったこと	写真の前に あったこと

写真が動き出す②

① P 75の写真から一つえらび、分かることを書き出しましょう。たくさんある場合は、新しいふき出しを足して書きましょう。



② 写真について次のことを考え、物語を作るじゅんびをしましょう。

だれが	
いつ	
どこで	
写真の前に あったこと	
写真の後に あったこと	
したこと、 会話	
まわりの様 子	

— 想像を広げよう そうぞう

名前

写真が動き出す③



えらんだ写真から物語を作りましょう。

えらんだ写真

遊びをくらべよう①

①

ふだんしている遊びにはどんなものがありますか。書きましょう。

②

思い出した遊びを分類ぶんるいしましょう。

③

クラスのみんなにほうこくしたい遊びを決めましょう。

2

- ・ 深める方法

〈取材カード〉

遊びの名前	いつ	どこで	人数	ルール		

4

う。

- 分たんしょう。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins or other markings visible.

冬眠する動物たち①

① 知っている動物の名前と、どんなことを知っているのかについて書きましょう。

--

② 「冬眠する動物たち」を読んで、はじめて知ったことやふしぎに思ったことを書きましょう。

--

③ どのだん落にどんな動物が出てきたかを書きましょう。

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧

⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		1 動物の名前
															2 なかま分け
															3 食べる・食べない

冬眠する動物たち③

① シマリス、クマ、ヤマネについて、表にまとめましょう。

体温	え	さ	
	食べない	食べる	
大きく 下がる	×	○	シマリス
			クマ
			ヤマネ

② 文章全体の組み立てを考えて、左の図を矢じるしてつなぎましょう。また、（ ）に言葉を入れましょう。

話題・問い

事例①

（ ）性動物

（このように）
まとめ・筆者の考え

事例②

（ ）性動物
冬の間、食べ（ ）

事例③

（ ）性動物
冬の間、食べ（ ）

冬眠する動物たち ④

① 読んで分かったことやもっと知りたいことなど、自分の考えを書きましょう。

② 友だちと話し合い、さん考になったことを書きましょう。

（

）さん

（

）さん

つながりを考えて書く

□ 表の(1)、(3)、(4)にある内容をよく読み、間がつながるように(2)、(5)、(6)を考えて書きましょう。

題名	(1)話題	(2)問い	(3)事例①	(4)事例②	(5)問いに対する答えのまとめ	(6)書いた人の考え
	夏から秋にかけて、あちらこちらでたくさんのおんぼを見かけます。わたしたちにとって、トンボはとても身近なこん虫です。		一つめのひみつは、さまざまなしゅるいがあることです。日本には、およそ二百しゅるい、世界には、なんとやく五千しゅるいのおんぼが生きています。	二つめのひみつは、そのとび方です。トンボは、時速百キロメートルものスピードを出したり、急に方向をかえたり、空中で止まったりすることができます。また、バックやちゅうがえりをすることもできます。		

言葉を受け止めよう

名前

心をとどけよう、受け止めよう

1 教科書の会話を読んで、どんな感じがしましたか。

--

2 あなたがたいちさんだったら、そうたさんとどんな会話をしますか。教科書P 96・97の①から⑥を言いかえて書きましょう。

①

--

②

--

③

--

④

--

⑤

--

⑥

--

わにのおじいさんのたから物①

① 「わにのおじいさんのたから物」を読んで、おもしろいと思ったことを書きましょう。

--

② みんながおもしろいと思ったことをメモしましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

わにのおじいさんのたから物②

□ 次の表に、作った問いや、こんきよとなる文、答えを書きましょう。

答え	こんきよとなる文	問い	自分
			友だち

わにのおじいさんのたから物③

- タヤけを見ているおにの子に、何と言ってあげたいですか。
- ・ 言ってあげたいこと（自分）

- ・ 言ってあげたい理由

- ・ 言ってあげたいこと（友だち）

- ・ 言ってあげたい理由

漢字の作り方

① これまでに習った漢字を調べましょう。

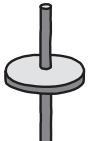
漢字の作り方を（ ）に、□に

漢字を書きましょう。

ア（ ）からできたもの



イ（ ）を記号で表したもの



ウ（ ）の意味を合わせたもの



鳥が口を開けて鳴く。



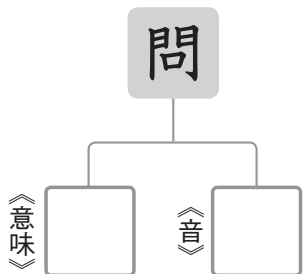
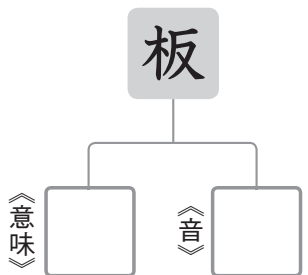
② 意味と音を組み合わせた漢字について

でき方を調べましょう。

漢字には、（ ）を表す部分と

（ ）（音）を表す部分とを組み合

わせて作られている。



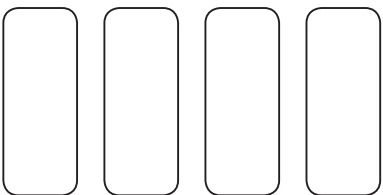
③ 上のまとまりと下のまとまりの漢字の

部分を組み合わせて、漢字を作りましょ

う。

また、意味と音を説明しましょう。

漢字 音 意味



④ 下の□と共通した音を表す部分を見つ

けて、次の①から⑤の漢字を読みましょ

う。

① 理 里

② 絵 会

③ 町 丁

④ 頭 豆

⑤ 持 時 寺

ローマ字

大文字と小文字

自分の名前や住所をローマ字で書きましょう。

2 二通りの書き方

身の回りで使われているローマ字を見つけて、二通りの書き方を書きましょう。

[illegible]

二年生で習った漢字①

○ 教科書のれいのように、次の漢字をたくさん使って、文や文章を作りましょう。

☐ 高い ☐ 長い ☐ 首 ☐ 顔 ☐ 明るい
☐ 少ない ☐ 多い ☐ 古い ☐ 新しい ☐ 太い ☐ 細い ☐ 池 ☐ 広い ☐ 毛 ☐ 黒い ☐ 高い ☐ 首 ☐ 長い ☐ 顔 ☐ 明るい

☐ 遠い ☐ 近い ☐ 強い ☐ 弱点

.....

.....

.....

.....

.....

.....



二年生で習った漢字②

○教科書のれいのように、次の漢字をたくさん使って、文や文章を作りましょう。

理科 電池 国語 読書 算数 計算 答え 社会 地図 音楽 歌声 図画工作 黄色 画用紙 日直

時間わり 発言 親友 話し合い 教室 同点 元気

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



言葉をつないで文を作ろう

名前

二年生で習った漢字③

○ 教科書のれいのように、次の漢字をたくさん使って、文や文章を作りましょう。

☐ 晴れ ☐ 谷 ☐ 山里 ☐ お寺
☐ 汽車 ☐ 馬 ☐ 線路 ☐ 野原 ☐ 汽車 ☐ 晴れ
☐ 道路 ☐ 公園 ☐ 丸太 ☐ 茶店 ☐ 魚市場 ☐ 中心 ☐ 岩

☐ 家 ☐ 内 ☐ 門 ☐ 外 ☐ 自動車 ☐ 交番

.....

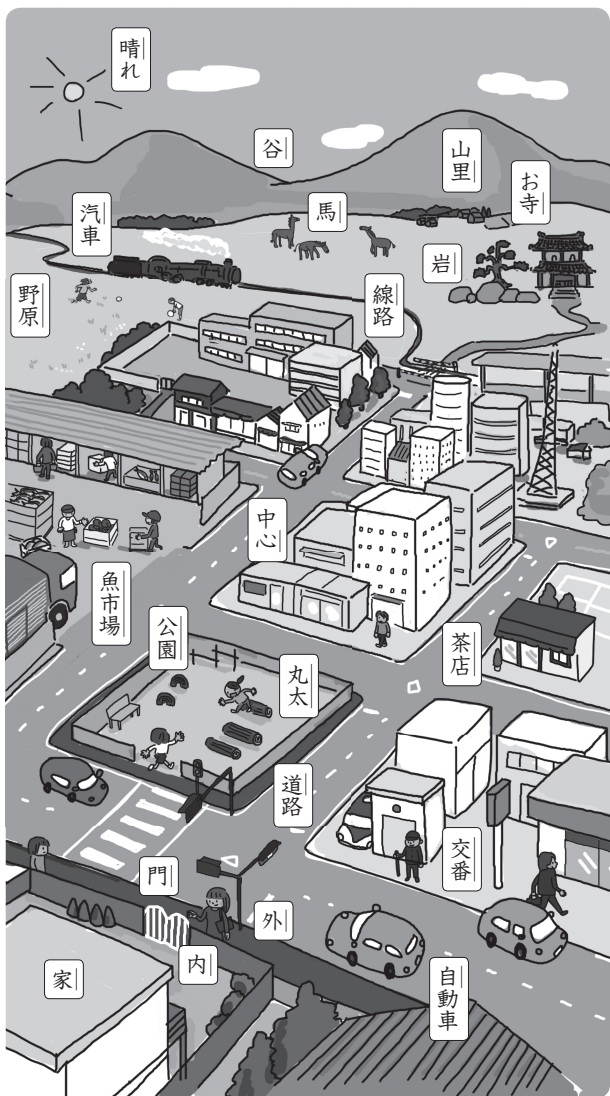
.....

.....

.....

.....

.....



この本で学習した漢字①

○ 新しい漢字を読みましょう。

言葉と言葉のつながりを楽しもう

- ① 兄のチ|ームは、決|勝|まで勝|ち進|みました。
() () () ()

ネコのひげ

- ② 弟の短|所は、氣が短|いことです。
() () () ()
- ③ 仕|事がおくれた理|由|をき|びしく問|いた|だ|しました。
() () () () ()
- ④ 役|人は、問|屋の名|前の由|来|をた|ずね|ました。
() () () () ()
- ⑤ その男は、根|氣よく主|人に仕|えました。
() () () ()
- ⑥ 木の根|だけでなく、皮|もく|す|りになります。
() () () ()
- ⑦ 問|題は、皮|ふをせ|い|けつにた|もてない|ことです。
() () () ()
- ⑧ 二番|めの問|いに答|えま|しょう。
() () ()

この本で学習した漢字①

○ 新しい漢字を書きましょう。

言葉と言葉のつながりを楽しもう

① 兄のチームは、決

しょう

まで

か

ち進みました。

ネコのひげ

② 弟の

たん

所は、気が

みじか

いことです。

③

し

事がおくれた理

ゆう

をきびしく

と

いただきました。

④

やく

人は、

とん

屋の名前の

ゆ

来をたずねました。

⑤

その男は、

こん

気よく主人に

つか

えました。

⑥

ね

ただでなく、

かわ

もくすりになります。

⑦

もん

題は、

ひ

ふをせいけつにたもてないことです。

⑧

二番めの

と

いに答えましょう。

この本で学習した漢字②

○ 新しい漢字を読みましょう。

慣用句かんようく

- ① 教科書の目次をひらきましょう。
()
- ② 先生に取り次いでいただけますか。
()
- ③ 次のバスは、何時に発車しますか。
()
- ④ 春になると、鼻がむずむずします。
()

この本で学習した漢字②

○ 新しい漢字を書きましょう。

慣用句 かんようく

①

教科書の目

をひらきましょう。

②

先生に取り

いでいただけますか。

③

のバスは、何時に発車しますか。

④

春になると、

がむずむずします。

この本で学習した漢字③

○ 新しい漢字を読みましょう。

ミニギャラリーの解説委員になろう

- ① 黒板に書かれた第一問は、かけ算の暗算です。
 () () () () () ()
- ② 進行方向の右がわには、暗い森が広がっています。
 () () () () () ()
- ③ 重い石をいくつも重ねて、石がきをきずきました。
 () () () () () ()
- ④ きれいにさいた八重ざくらを板の間にかざりました。
 () () () () () ()
- ⑤ お客様のき重品をあずかるのは、せきにん重大です。
 () () () () () ()
- ⑥ 船のかん板へ出ると、はるか向こうに町が見えました。
 () () () () () ()
- ⑦ あて先をまちがえたので、手紙が返送されてきました。
 () () () () () ()
- ⑧ かりていた本を返しに行きました。
 () () () () () ()

この本で学習した漢字③

○ 新しい漢字を書きましよう。

ミニギャラリーの解説委員になろう

- ① 黒 ばん に書かれた だい 一問は、かけ算の あん 算です。
- ② 進行方 こう の右がわには、 くら い森が広がっています。
- ③ おも い石をいくつも かさ ねて、石がきをきずきました。
- ④ きれいにさいたハ え ズぐらを いた の間にかざりました。
- ⑤ お きやく 様のき ちよう 品をあずかるのは、せきにん じゆう 大です。
- ⑥ 船のかん ばん へ出ると、はるか む こうに町が見えました。
- ⑦ あて先をまちがえたので、手紙が へん 送されてきました。
- ⑧ かりていた本を かえ しに行きました。

この本で学習した漢字④

○ 新しい漢字を読みましょう。

漢字の広場

① 出港する船を見送る人々で、港はにぎわっています。

② その酒屋さんでは、あま酒も売っています。

③ わたしのおばあさんは、昭和生まれです。

④ 昔、炭だわらに木炭を入れて運んでいました。

⑤ 流水のやってくる北の海にも、生命はたん生します。

⑥ 氷ざとうを入れてうめ酒を作りました。

⑦ 命がけて三十秒間、走りつづけました。

こそあど言葉

⑧ テーブルに人数分の小皿をならべました。

この本で学習した漢字④

○ 新しい漢字を書きましょう。

漢字の広場

①

出

こっ

する船を見送る人々で、

はにぎわっています。

みなと

②

その

さか

屋さんでは、あま

も売っています。

ざけ

③

わたしのおばあさんは、

生まれます。

しょう

わ

④

昔、

すみ

だらに木

を入れて運んでいました。

たん

⑤

流

ひょう

のやってくる北の海にも、生

はたん生します。

めい

⑥

こおり

ざどうを入れてうめ

を作りました。

しゅ

⑦

いのち

がけて三十

間、走りつづけました。

びょう

こそあど言葉

⑧

テーブルに人数分の小

をならべました。

せう

この本で学習した漢字⑤

○ 新しい漢字を読みましょう。

モチモチの木

① 両手を大きくふって、坂を上りました。

② 医学の進歩が死者の数を大きくへらしました。

③ お祭りですくった金魚が死んでしまいました。

④ 自転車がわたしを追いこしていきました。

⑤ 火事のせきにんをきびしく追きゅうしました。

⑥ ギリシャ神話には、ゼウスという神が出てきます。

⑦ 神社では、新しい社の工事が始まりました。

⑧ 今夜は強い寒気のため、寒さがきびしくなるでしょう。

⑨ 文化祭の会場でひじをすりむいて、血が出ました。

この本で学習した漢字⑤

○ 新しい漢字を書きましょう。

モチモチの木

① りょう 手を大きくふって、
 さか を上りました。

② い 学の進歩が し 者の数を大きくへらしました。

③ お まつ りですくった金魚が し んでしまいました。

④ 自転車がわたしを お いこしていきました。

⑤ 火事のせきにんをきびしく つい きゅうしました。

⑥ ギリシャ しん 話には、ゼウスという かみ が出てきます。

⑦ じん 社では、新しい社の工事が はじ まりました。

⑧ 今夜は強い かん 気のため、
 さむ さがきびしくなるでしょう。

⑨ 文化 さい の会場でひじをすりむいて、
 ち が出ました。

この本で学習した漢字⑥

○ 新しい漢字を読みましょう。

モチモチの木

① 鼻からの出血がなかなかとまりません。

② 目薬を買いに薬局に行きました。

③ 父は始発電車にのって、つりに行きました。

④ 読み終わった本を本箱にしまいました。

⑤ ねっ湯でふきんをしようどくしました。

⑥ やかんの口から湯気が出ています。

⑦ 他人まかせにしてはいけません。

⑧ 今は、わたしの他にはだれもいません。

この本で学習した漢字⑥

○ 新しい漢字を書きましょう。

モチモチの木

① 鼻からの出 けっ
がなかなかとまりません。

② 目 ぐすり
を買いに やっ
局に行きました。

③ 父は し
発電車にのって、つりに行きました。

④ 読み終わった本を本 ばこ
にしまいました。

⑤ ねっ とっ
でふきんをしょうどくしました。

⑥ やかんの口から ゆ
気が出ています。

⑦ た
人まかせにはいけません。

⑧ 今は、わたしの ほか
にはだれもいません。

この本で学習した漢字⑦

○ 新しい漢字を読みましょう。

言葉のなかま分け

- ① その半島にある平野では、米作りが行われています。
 () () ()
- ② 荷物を二人で平等に分けて持ちます。
 () () ()
- ③ 平らな道をしばらく進むと、県道に出ます。
 () () ()
- ④ 一年生が、平がなの練習をしています。
 () () ()
- ⑤ その角を曲がると、作曲家の家があります。
 () () ()
- ⑥ 投手は一点さを死守しなければなりません。
 () () ()
- ⑦ 妹と二人で、る守番をしています。
 () () ()
- ⑧ 交通ルールを守りましょう。
 () () ()
- ⑨ 長さの等しいロープを二本つないで投げました。
 () () ()

この本で学習した漢字⑦

○ 新しい漢字を書きましょう。

言葉のなかま分け

① その半 とう
 にある へい
 野では、米作りが行われています。

② に
 物を二人で びよう
どう
 に分けて持ちます。

③ たい
 らな道をしばらく進むと、
けん
 道に出ます。

④ 一年生が、
ひら
 がなの れん
 習をしています。

⑤ その角を ま
 がると、作 きよく
 家の家があります。

⑥ とう
 手は一点さを死 しゆ
 しなければなりません。

⑦ 妹と二人で、
す
 番をしています。

⑧ 交通ルールを まも
 りましょう。

⑨ 長さの ひん
 しいロープを二本つないで
な
 げました。

この本で学習した漢字⑧

○ 新しい漢字を読みましょう。

言葉のなかま分け

- ① 冬休みの計画を練り直します。 () ()
- ② 悲鳴が聞こえたので、助けに向かいました。 () ()
- ③ 悲しい物語を読んで、なみだがこぼれました。 () ()
- ④ 島国で生まれた男は、幸福な人生を送りました。 () ()
- ⑤ 兄は、大学の研究室で先生の助手をしています。 () ()
- ⑥ 九州地方は、農業がさかんです。 () ()
- ⑦ この後、軽食をとってから出かけます。 () ()
- ⑧ もう少し軽いランドセルがありますか。 () ()

この本で学習した漢字⑧

○ 新しい漢字を書きましょう。

言葉のなかま分け

① 冬休みの計画を ね り直します。

② ひ 鳴が聞こえたので、
 たす けに向かいました。

③ かな しい物語を読んで、なみだがこぼれました。

④ しま 国で生まれた男は、幸 ふく な人生を送りました。

⑤ 兄は、大学の けん きゆう 室で先生の じょ 手をしています。

⑥ 九 しゅう 地方は、
 のう ぎょう がさかんです。

⑦ この後、
 けい 食をとってから出かけます。

⑧ もう少し かる いランドセルはありますか。

この本で学習した漢字⑨

○ 新しい漢字を読みましょう。

本のポップを作ろう

① この作品を書いた筆者について調べます。

() () () ()

② 店で売る品物のねだんを小筆で書きました。

漢字の組み立て(部首)

③ 銀色の大きな魚が泳いでいます。

() ()

遊びをくらべよう

④ ほう丸投げは、鉄の球を投げるきょうぎです。

() () () ()

⑤ 野球場からもどると、深夜になっていました。

() () () ()

⑥ 相談にのってくれた友に、お礼を言いました。

() () () ()

⑦ 本を読んで、考えを深めましょう。

() ()

この本で学習した漢字⑨

○ 新しい漢字を書きましょう。

本のポップを作ろう

① この作 ひん
 ひつ
 を書いた 者について調べます。

② 店で売る しな
 ふて
 物のねだんを小 で書きました。

漢字の組み立て (部首)

③ ぎん
 色の大きな魚が泳いでいます。

遊びをくらべよう

④ ほう丸投げは、 てつ
 たま
 の を投げるきようぎです。

⑤ 野 きゆう
 しん
 場からもどると、 夜になっていました。

⑥ 相 だん
 れい
 にのつてくれた友に、お を言いました。

⑦ 本を読んで、考えを ふか
 めましよう。

この本で学習した漢字⑩

○ 新しい漢字を読みましょう。

冬眠する動物たち

① この水は、安|心して飲|ぶことができます。
() () ()

② もう少し安|上がりな飲|食店をさがします。
() () ()

③ 二学期|からは、もっと早く起|きるようにします。
() () ()

④ 東京駅を起|点とする電車に乗|って出かけます。
() () ()

⑤ 駅前からタクシ|ーに乗|車しました。
() ()

⑥ うらの畑で、りんごの木を育|てています。
() ()

⑦ やさしい心を育|むための教育|に力を入れます。
() () ()

心をとどけよう、受け止めよう

⑧ 町の中央|に大きな公園|があります。
() ()

この本で学習した漢字⑩

○ 新しい漢字を書きましょう。

冬眠する動物たち

① この水は、

あん

心して

の

おことができます。

② もう少し

やす

上がりな

いん

食店をさがします。

③ 二学

き

からは、もっと早く

お

きるようにします。

④ 東京駅を

き

点とする電車で

の

って出かけます。

⑤ 駅前

からタクシーに

じょう

車しました。

⑥ うらの畑で、

りんごの木を

そだ

てています。

⑦ やさしい心を

はぐく

むための教

いく

に力を入れます。

心をとどけよう、受け止めよう

⑧ 町の中

おっ

に大きな公園があります。

この本で学習した漢字⑪

○ 新しい漢字を読みましょう。

わにのおじいさんのたから物

① 川岸を歩いていると、美しい花を見つけました。

② 地いきの美化活動で、海岸のごみ拾いをしました。

③ 旅館のまどから、開花したばかりのさくらが見えます。

④ まどを開けると、君たちの元気なすがたが見えました。

⑤ その男は、主君にしたがって旅に出ました。

⑥ 横書きのノートを開いてください。

⑦ 手を上げて横だん歩道をわたりましょう。

この本で学習した漢字⑪

○ 新しい漢字を書きましょう。

わにのおじいさんのたから物

① 川 ぎし
を歩いていると、
 うつく
しい花を見つけました。

② 地いきの び
化活動で、海 がん
のごみ ひろ
いをしました。

③ りよ
館のまどから、
 かい
花したばかりのさくらが見えます。

④ まどを あ
けると、
 きみ
たちの元気なすがたが見えました。

⑤ その男は、主 くん
にしたがつて たび
に出ました。

⑥ よこ
書きのノートを ひら
いてください。

⑦ 手を上げて おう
だん歩道をわたりましょう。

三年生で学習した漢字②

○ 漢字の練習をしましょう。

持	詩	始	仕	根	幸	庫	決	係	苦	局	橋
式	次	指	死	祭	港	湖	研	輕	具	銀	業
実	事	齒	使	皿	号	向	県	血	君	区	曲

三年生で学習した漢字④

○ 漢字の練習をしましょう。

登	豆	都	笛	追	丁	着	炭	代	打	速	送
等	島	度	鉄	定	帳	注	短	第	対	族	想
動	湯	投	転	庭	調	柱	談	題	待	他	息

三年生で学習した漢字⑥

○ 漢字の練習をしましょう。

					路	礼	旅	様	洋	遊	由
					和	列	両	落	葉	予	油
						練	緑	流	陽	羊	有